

「人とペットと野生動物が共存して暮らせる島づくり」の実現をめざして

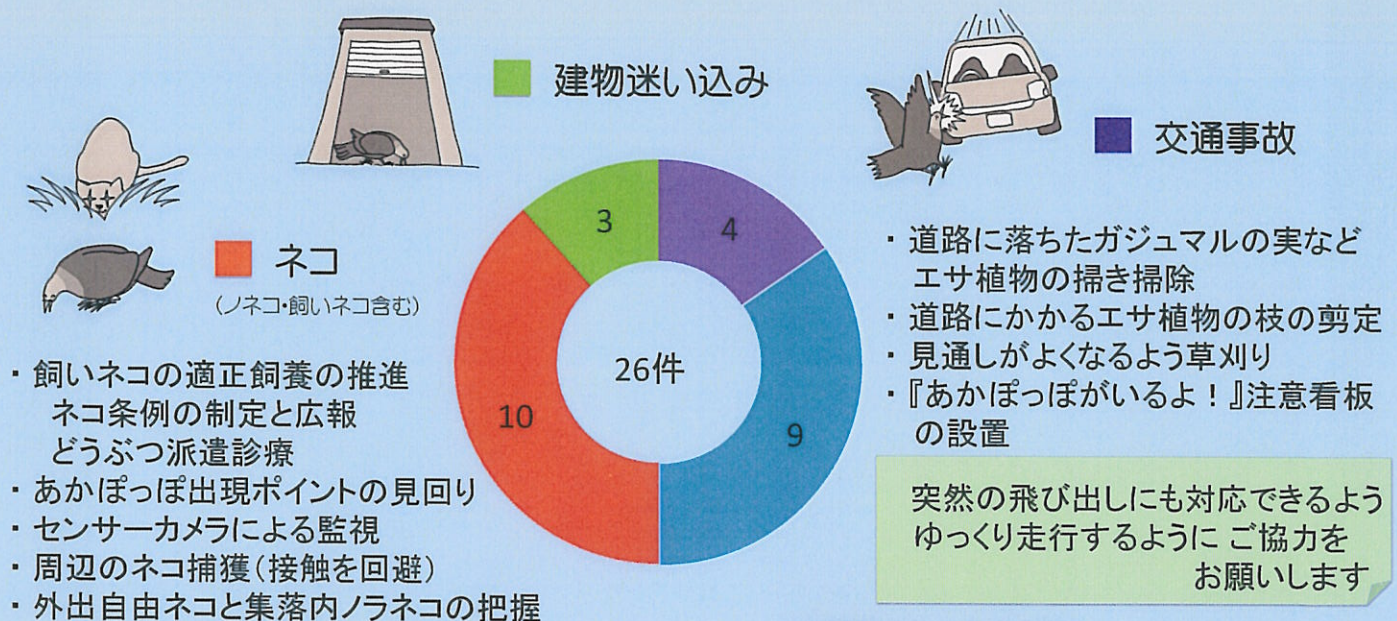
どうぶつ派遣診療は、希少な野生動物を保護するための活動として行われています。
小笠原ネコに関する連絡会議では、東京都獣医師会と協同し、「飼いネコの室内飼養」
をめざして活動しています。



…2010年からの父島山域全体でのノネコ捕獲と、みなさまの飼いネコの避妊去勢手術の
実施や室内飼養などのご協力により、“あかぼっぼ”は 100～200羽程度(繁殖鳥)まで
増えてきています。

新たな課題と対策

【父島・母島で目撃発見された“あかぼっぼ”の事故 2012～2013年】



あかぼっぼとネコが接触しないよう
飼いネコの室内飼養へのご協力
をお願いします



窓ガラスへの衝突

- ～草木が写りこんでいる窓ガラスは認識できません
- ・ 草木が写る窓へのステッカーの貼り付け
 - ・ よしずなどの立てかけ



小笠原ネコに関する連絡会議の取り組み

since 2006

【目標】

「人とペットと野生動物が共存して暮らせる島づくり」の実現

【対象と到達目標】

- ・山域の野生化したネコ → 山域に生息するネコをゼロにする
- ・集落地域のノラネコ・エサやりネコ → 集落内の徘徊ネコをゼロにする
- ・飼いネコ → 適正飼養の推進
「飼養登録」「不妊化」「室内飼養」
「マイクロチップの挿入・首輪の装着」



東京都獣医師会の協力

～ 小笠原諸島における希少野生動物保護対策に協力 ～

飼いネコの適正飼養を推進するため、
2008年より『どうぶつ派遣診療』にボランティアで協力

【これまでの成果】(2013.09.25 父島)

・飼いネコ数	85頭
・飼いネコ登録率	98.8%
・マイクロチップ挿入率	88.2%
・避妊去勢率	100%
・室内飼養率	47.1%



東京の動物病院へ
引越したネコは
357頭

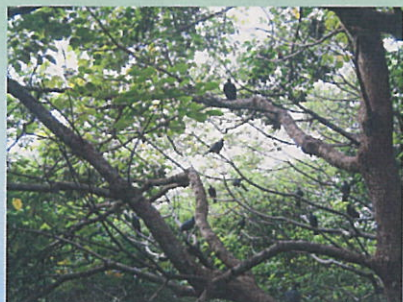
小笠原ネコに関する連絡会議では、東京都獣医師会と協同し
飼いネコの室内飼養 をめざしています

あかぼっぼ 復活の兆し

**アカガシラカラスバト *Columba janthina nitens* 天然記念物 絶滅危惧種



母島 新夕日ヶ丘

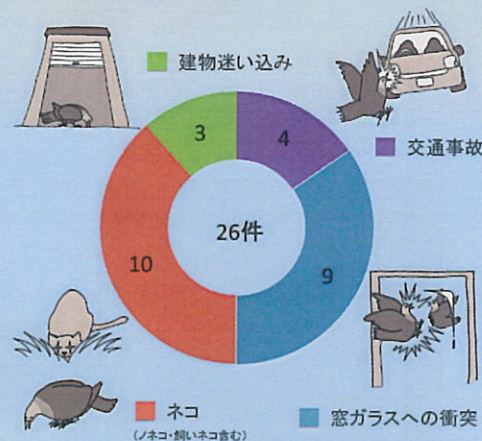


父島 小笠原高校へ向かう坂道

森の中で暮らす「幻の鳥」と言われていた“あかぼっぼ”ですが、現在、小笠原諸島全体で繁殖しているハトは、100～200羽程度まで増えてきています。

2012～2013年

父島・母島で目撃・発見された
“あかぼっぼ”の事故



夏場、集落にもたくさん現れるようになった“あかぼっぼ”ですが、多くが若鳥です。

この若鳥たちが成長し繁殖に参加できたとき、はじめて増加に期待が持てるようになります。

IUCN(国際自然保護連合)の基準では、生息数が1,000個体以下の動物は絶滅してしまう可能性が非常に高いとされており、“あかぼっぼ”は依然として絶滅の危険が非常に高い状態が続いています。

この夏、集落で起こったこと…



6月2日 清瀬都住付近：
上野の動物病院へ搬送後、死亡



7月26日 東町：
ネコに襲われているところを目撃。
その後、骨折した状態で保護し、
上野の動物病院へ搬送し整復。



* 右下腿骨折



8月16日 小曲：
周辺住民の発見・保護により致命傷は
避けられ、上野の動物病院へ搬送。
手術加療後、退院。



山域のネコ対策が進み、父島の山の中に生息するネコの数はいくつか少なくなっています。
山中での外敵が減ったことにより、あかぼっぼの繁殖が進み、多くの若鳥が集落周辺にも姿を見せるようになりました。
ところが集落では、まだまだ外を歩きまわるネコが多くいるため、あかぼっぼとネコとが出会う機会が多くなっています。

ネコによる野生鳥獣被害



ムナグロ

父島の集落で收容される傷病鳥獣の
約10%がネコによる被害です。



2013年9月3日 奥村

* 天然記念物

推定個体数250頭程度といわれる
“オガサワラオオコウモリ”も
2010年から10頭が集落内のネコに
襲われ死亡しています。

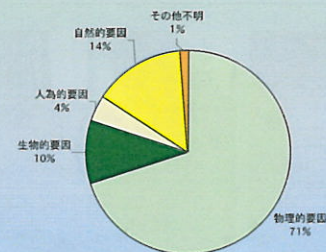


図6 救護原因の内訳 (%) n=70

集落地だけで10年間に約 ** 個体が
被害にあっています。
ネコ被害による救護個体は、
そのほとんどが死亡しています。

ボランティア協力



島しょ保健所獣医師・スタッフによる
応急処置

事業協力(地域外保全)



上野の動物病院スタッフ

世界でも小笠原にしかいない野生動物がいます…
小笠原で生きる野生動物がいます…
ともに島で暮らす私たちや私たちのペットが原因で、この野生動物
たちの命を奪うことがないような島を一緒につくっていきましょう…

■ その他の課題と対策



■ 交通事故



- ・道路に落ちたガジュマルの実などエサ植物の掃き掃除
- ・道路にかかるエサ植物の枝の剪定
- ・見通しが良くなるよう草刈り
- ・『あかぼっぽがいるよ!』注意看板の設置

ハトなどの突然の飛び出しにも対応できるように、ゆっくり走行するようご協力をお願いします



■ 窓ガラスへの衝突



～草木が写りこんでいる窓ガラスは認識できません～



- ・草木が写る窓へのステッカーの貼り付け
- ・よしずなどの立てかけ

草木が写りこむ窓へのステッカー等の貼付をお願いします



■ 建物迷い込み



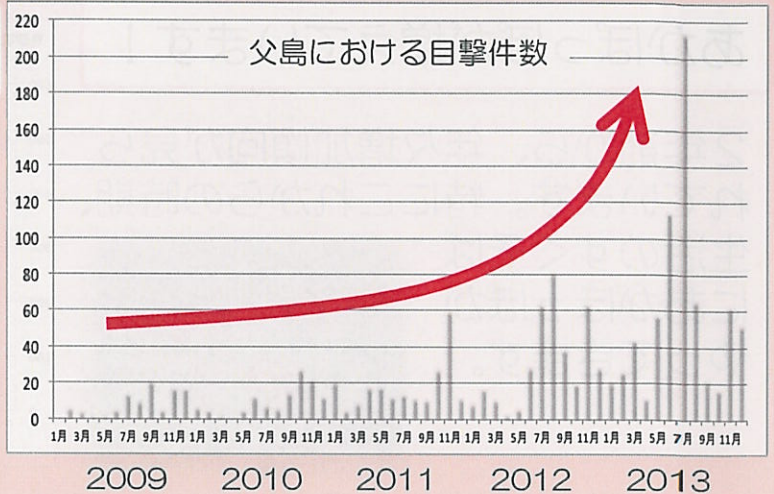
小笠原中学校

建物内に迷い込んだハトを見つけた時は、アイボまでご連絡ください

今年も私たちが暮らすすぐそばに アカガシラカラスバトがやってきています

あかぼっぽが増えていきます！

2年前から、年々増加傾向が見られています。特にこれからの時期、生活のすぐそばにあかぼっぽがやってきます。



過去3年間のあかぼっぽのトラブル発生場所

生活との接点、事故も増えていきます！

3月以降、4件のトラブルが発生

- ✕ 窓ガラスへの衝突
- ✕ ネコによる被害
- ✕ 建物への迷い込み
- ✕ 交通事故
- ✕ 原因不明（衰弱等）

ネコとの遭遇

窓ガラスへの衝突

車との衝突

建物への迷い込み

増えているといってもまだまだ少ないあかぼっぽを守るため、身の回りでのご協力をお願いします

～ 近くで”あかぼっぽ”を見かけたら～

～ 車はゆっくり走ってね！～



今年も私たちが暮らすすぐそばに アカガシラカラスバトがやってきました

あかぼっぽが増えていきます！

2年前から、年々増加傾向が見られています。特にこれからの時期、生活のすぐそばにあかぼっぽがやってきます。



過去3年間のあかぼっぽのトラブル発生場所



生活との接点、事故も増えていきます！

ネコとの遭遇



車との衝突



窓ガラスへの衝突



- ・ハトの目撃情報が増加している父島では、交通事故、窓ガラスへの衝突など、事故が増加しています。
- ・昨年の母島での事故のほとんどが、ネコによる被害でした。

増えているといってもまだまだ少ないあかぼっぽを守るため、身の回りでのご協力をお願いします

～ 近くで”あかぼっぽ”を見かけたら～

～ 車はゆっくり走ってね！～

ネコに狙われ
ちゃうこともある
から、みんなで
見守ってね！



緊急時の連絡先

-----平日-----
母島観光協会
TEL 04998-3-2300
-----休日・夜間-----
東京都鳥獣保護員(宮城)
TEL 04998-3-2170
環境省母島事務所
TEL 04998-3-2577



突然、飛び出し
てくること
があるよ！